



SGホールディングス株式会社

2020年7月31日

2021年3月期 第1四半期決算について

SGホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)は本日、2021年3月期 第1四半期決算を発表しましたので、お知らせいたします。

2021年3月期 第1四半期決算の連結営業収益は、新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」)拡大による巣ごもり消費の影響で BtoC の荷物が増加したことに加え、在宅率向上により配達効率が上がったことなどを受け、前年同期比で 9.1%増加し、3,176 億円となりました。また営業利益についても、取扱個数の増加などに伴い人件費や外注費が増加したものの、営業収益の増加に伴い 277 億円(同 47.7%増)となりました。主な業績は以下の通りです。

	2020年3月期 第1四半期実績	2021年3月期	
		第1四半期実績	前期比
営業収益	2,910 億円	3,176 億円	109.1%
営業利益	187 億円	277 億円	147.7%
経常利益	192 億円	288 億円	149.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	101 億円	172 億円	170.3%

<セグメント別概況>

デリバリー事業においては、感染症拡大により、BtoB の取扱個数が荷主の営業自粛により減少した一方、BtoC は巣ごもり消費の影響を受け大幅に増加したことや、グループ横断の先進的ロジスティクスプロジェクトチーム「GOAL(GO Advanced Logistics)」によるオンライン営業が堅調に推移したことを受け、営業収益は 2,432 億 79 百万円(前年同四半期比 4.4%増)、営業利益は 156 億 31 百万円(同 28.6%増)となりました。ロジスティクス事業では、感染症対策医療物資の物量増加などにより、営業収益は 407 億 57 百万円(前年同四半期比 29.0%増)、営業利益は 20 億 63 百万円(同 299.3%増)となりました。不動産事業では、計画的に保有不動産を売却した結果、営業収益は 172 億 73 百万円(前年同四半期比 59.4%増)、営業利益は 84 億 9 百万円(同 80.8%増)となっています。

感染症の影響による緊急事態宣言解除以降、社会経済活動は徐々に再開する動きがみられるものの、感染第2波への懸念など予断を許さない状況が続いております。このような状況のもと、当社グループは、社会インフラを担う物流企業グループとして、社員への感染症対策を徹底するとともに、日々変化するお客様のニーズに柔軟に対応した輸送サービスを提供してまいります。

SGホールディングスグループは、純粋持株会社 SGホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。